

関係各位

UDF マーク表示方法の変更についてご案内

日本介護食品協議会
会長 森 佳 光

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は本協議会の運営に多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。

本協議会は平成 14（2002）年の設立以来、介護用加工食品の業界自主基準の策定・運用を以て「ユニバーサルデザインフード」の普及を推進してまいりました。現在では、会員企業数 70 社、UDF 商品登録数およそ 1,800 品目、UDF 生産金額は 200 億円以上と年々規模を拡大しているところであり、UDF マークはもはや介護食品のブランドと位置付けられております。

さて、現在ユニバーサルデザインフードの商品には、ご存じのとおりメーカー共通の表示として、UDF マークと食べやすさの区分である「容易にかめる」「歯ぐきでつぶせる」「舌でつぶせる」「かまなくてよい」の文言と、これにあわせた 1～4 の区分を表す数値を表示し、利用者の商品選択時の理解に配慮してまいりました。

一方、昨今では介護食品に関する新たな規格が提案されるなど、今後ユニバーサルデザインフードを取り巻く環境の変化が予測されております。このような中、協議会では販売の現場や商品の選択における利用者の混乱を避け、より分かりやすく表示を行っていくことが肝要と考えました。そこで、利用者が実際の商品選択に際して注視する点についてあらためて調査を行うとともに検討を重ねてまいりました。

この結果、利用者が商品の選択時にもっとも参考としている表示は、「容易にかめる」などの内容物の状態をあらわす文言であることがわかりました。

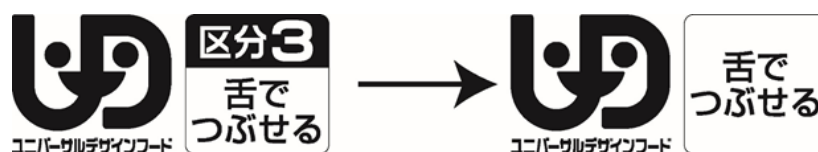
従いまして協議会では、各メーカーの UDF マーク商品の表示から、1～4 の区分数値を削除し、「容易にかめる」等の文言を中心とした表示を行っていくことがもっともわかりやすく適切であると判断し、今後表示方法をこれにあらためることといたしました。

なお、同表示方法については今後各メーカーにて順次変更を行っていく予定にしております。

関係各位におかれましては、本件につきご周知賜りたくお願い申し上げます。

敬具

新しい UDF 表示の例



区分数値を削除して表示

ユニバーサルデザインフード



ユニバーサルデザインフード

の表示が新しくなります！



ユニバーサルデザインフード

これまでの表示



ユニバーサルデザインフード

これからの表示

いつもユニバーサルデザインフードをご利用いただき誠にありがとうございます。

日本介護食品協議会では、このほど「ユニバーサルデザインフード（UDF）」マークの表示方法を、より見やすく分かりやすくするために、区分を表す番号を削除して食品の状態を表す「容易にかめる」などの文言のみの表示に統一してまいります。

この表示については今後各メーカーにて順次変更を行っていく予定にしております。

今後も安心してお使いいただくためにUDFは進化し続けます！

区分	容易にかめる	歯ぐきでつぶせる	舌でつぶせる	かまなくてよい
かむ力の目安	かたいものや大きいものはやや食べづらい	かたいものや大きいものは食べづらい	細かくてやわらかければ食べられる	固形物は小さくても食べづらい
飲み込む力の目安	普通に飲み込める	ものによっては飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらいことがある	水やお茶が飲み込みづらい
かたさの目安	ごはん	ごはん～やわらかごはん	やわらかごはん～全がゆ	ペーストがゆ
	さかな	焼き魚	煮魚	魚のほぐし煮（とろみあんかけ）
	たまご	厚焼き卵	だし巻き卵	スクランブルエッグ
	調理例（ごはん）			

※食品のメニュー例で商品名ではありません。

お問い合わせ

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階（公社）日本缶詰びん詰りし食品協会内

日本介護食品協議会

TEL: 03-5256-4801 FAX: 03-5256-4805 <http://www.udf.jp/>



ユニバーサルデザインフード